

9. 臨床研修スケジュール（内容及び期間）

最前線（救急医療・総合診療）から 最先端（大学病院）まで

富山医療圏において二次救急の輪番病院としての役割を担い、さまざまな疾患に対応できる環境を整えています。これにより、総合医を目指す方も、専門医を目指す方も、それぞれに適した実践的な研修を経験することが可能です。また、研修医の皆さんが新たな興味や可能性を見つけた場合でも、柔軟に方向性を変更できる体制を構築しており、自身の成長やキャリアをより広げることができるようサポートしています。当院の研修プログラムは「多彩」で「フレキシブル」な選択肢が特徴です。済生会病院との連携により、福岡総合病院と横浜市東部病院で救急医療の最前線を体験できるほか、獨協医科大学病院や福岡総合病院の総合診療科では、臨床の基本的スキルをしっかりと学ぶことができます。これらの経験により、研修医の皆さんが幅広い視点を養い、将来の選択肢をさらに広げる機会を提供します。さらに、富山大学附属病院との連携により、最先端の医療技術に触れる貴重な体験も可能です。この環境では、実践的な診療スキルを磨くだけでなく、新しい発想を育て、医師としての成長を大きく加速させることができます。地域医療を重視する当院の研修では、実際の診療現場で患者さんと向き合い、医療の本質に近づくことができるでしょう。

◇1年次 プログラム（例）

※1	※2	※2	※2	※2	
内科 (24週)	産婦人科 (4週)	外科 (4週)	精神科 (4週)	小児科 (4週)	救急医療 + 麻酔科 (8週 + 4週)
2次救急輪番研修					

◇2年次_{※3} プログラム（例）_{※3}

選択コース（48週）

※3

※3

※4※5

済生会病院(福岡/横浜/高岡) (12週以内/8週)	獨協医科大学 総合診療 (12週以内)	済生会富山病院 (希望研修科研修)	富山大学附属病院 (12週以内)	Dr.ヘリ 県中救急 (4週)	地域 医療 (4週+1週)
2次救急輪番研修					

- ※1 内科研修：循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科を各4週間ずつローテーションし、最終月には希望する内科を再度研修する。
- ※2 必修診療科：外科・麻酔科は当院で、小児科は富山大学附属病院にて研修、産婦人科は富山県済生会高岡病院又は富山大学附属病院で研修、精神科は谷野呉山病院又は富山大学附属病院にて研修を行う。
- ※3 選択コースは、下記の①～⑤の病院のうち、3つ以内（合計：24週以内）を選択することができる。残りの期間は、当院で希望診療科の研修を行う。ただし、実習時期に関しては当該病院の都合により指定または変更の場合がある。
 - (ア) 済生会福岡総合病院（12週以内：救急または総合診療科）
 - (イ) 済生会横浜市東部病院（8週：救急およびICU）
 - (ウ) 獨協医科大学病院（12週以内：総合診療科）
 - (エ) 富山大学附属病院（12週以内）
 - (オ) 富山県立中央病院（4週）救急研修（ドクターヘリ同乗も可能）
 - (カ) 富山県済生会高岡病院（12週以内：内科）
- ※4 地域医療研修：富山西総合病院および、よつば在宅クリニックにおいて、地域医療研修を行う。
- ※5 一般外来研修：総合診療研修者はその期間を充て、それ以外は当院の内科初診外来をこれに充てる。